



メイン
テーマ

大気・水環境汚染の 評価と対策

[受講料] **10,000 円(税込)**
(研究協力会会員は 5,000 円)

[定員] **20 人**

[開講日・開講時間]

2023年 **10月20日(金)** | 9:00 ~ 17:00

[場所] 射水キャンパス

中央棟 N639ほか
環境工学実験棟1

[申込締切] 2023年 **9月29日(金)**

受講者が準備するもの
なし

カリキュラム

日時	テーマ	内容	キーワード	担当講師	場所
1 9:00 ~ 10:30	水環境中の DNA 分析	水環境中の微生物、動物細胞の遺伝子を利用した健康リスク評価や感染症流行状況、動物の生息状況等の評価について講義と実習を通して学びます。	環境 DNA、健康リスク評価	環境・社会基盤工学科 端 昭彦 准教授	N639
2 10:40 ~ 12:10	水銀の分析	大気中の水銀濃度を測定、分析する手法について説明します。その後、希望者の髪の毛の水銀を測定します。	水銀、大気汚染	環境・社会基盤工学科 川上 智規 教授	N605 ・ N640
3 13:10 ~ 14:40	大気環境の現状と計測	大気環境の実態や計測方法について解説し、エアロゾル粒子や光化学オキシダント関連物質の測定を行います。	エアロゾル、光化学オキシダント	環境・社会基盤工学科 渡辺 幸一 教授	学生実験室 (環境) (環境工学実験棟1)
4 14:50 ~ 16:20	化学物質の生態影響	化学物質の環境影響評価の方法を概説します。その後、生態毒性試験(甲殻類、藻類)を行います。	化学物質、生態影響評価	環境・社会基盤工学科 坂本 正樹 准教授	学生実験室 (環境) (環境工学実験棟1)
5 16:30 ~ 17:00	振り返り	内容の振り返りと意見交換を行います。		環境・社会基盤工学科 川上 智規 教授 渡辺 幸一 教授 坂本 正樹 准教授 端 昭彦 准教授	学生実験室 (環境) (環境工学実験棟1)

受講対象者

- 大気・水環境の汚染について基礎から学びたい方、これらに関連する業務に就いている方

カリキュラムの趣旨

大気汚染 (PM2.5 をはじめとする越境汚染) や水環境汚染 (ヒト・動物由来の微生物やウイルス、化学物質等) の実態と評価法、その対策について講義と実習を通して学びます。

Keyword キーワード

A	越境汚染
B	粒子状物質
C	光化学オキシダント
D	微生物
E	環境 DNA
F	水銀
G	生態影響評価